



いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.42

平成28年4月28日発行



▲ 内川での「お花見ジャズライブ」

市議会のひびき

1月

- 20日 議会広報編集委員会
- 議員懇談会
- 28日 議会運営委員会・行政視察
- 29日 議会改革検討委員会

2月

- 24日 議会運営委員会
- 全員協議会
- 議会改革検討委員会

3月

- 2日 **【定例会】**
- 議会運営委員会
- 本会議
- 全員協議会
- 議員懇談会
- 8日 本会議（代表質問）
- 議会運営委員会
- 9日 本会議（一般質問）
- 議会広報編集委員会
- 10日 予算特別委員会
- 議会運営委員会
- 11日 議会改革検討委員会
- 議会特別委員会
- 14日 総務文教常任委員会
- 15日 民生病院常任委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 17日 予算特別委員会
- 議会運営委員会
- 18日 本会議
- 予算特別委員会
- 議会運営委員会

4月

- 12日 議会改革検討委員会
- 13日 民生病院常任委員会
- 14日 産業建設常任委員会
- 18日 議会広報編集委員会
- 19日 総務文教常任委員会

3月定例会

平成28年度射水市一般会計予算など45議案を可決しました。

3月定例会は3月2日～18日までの17日間の会期で開催し、議案45件のほか、専決処分の承認を求める報告2件、諮問2件、議員提出議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

議決結果一覧表（平成28年3月射水市議会定例会）

【議案】

番号	件名	結果
第1号	平成28年度射水市一般会計予算	可決
第2号	平成28年度射水市国民健康保険事業特別会計予算	可決
第3号	平成28年度射水市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
第4号	平成28年度射水市介護保険事業特別会計予算	可決
第5号	平成28年度射水市水道事業会計予算	可決
第6号	平成28年度射水市下水道事業会計予算	可決
第7号	平成28年度射水市病院事業会計予算	可決
第8号	平成27年度射水市一般会計補正予算(第5号)	可決
第9号	平成27年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第10号	平成27年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決
第11号	平成27年度射水市墓苑事業特別会計補正予算(第1号)	可決
第12号	平成27年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第13号	平成27年度射水市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
第14号	平成27年度射水市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
第15号	平成27年度射水市病院事業会計補正予算(第3号)	可決
第16号	射水市行政不服審査法施行条例の制定について	可決
第17号	射水市消費生活センター条例の制定について	可決
第18号	射水市生涯学習センター条例の制定について	可決
第19号	射水市情報公開条例等の一部改正について	可決
第20号	射水市行政組織条例の一部改正について	可決
第21号	射水市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部改正について	可決
第22号	射水市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可決
第23号	射水市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
第24号	射水市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
第25号	射水市公共施設建設基金条例の一部改正について	可決
第26号	射水市市税条例及び射水市市税条例及び射水市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
第27号	射水市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決
第28号	射水市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決

番号	件名	結果
第29号	射水市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第30号	射水市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第31号	射水市老人ホーム入所判定委員会条例等の一部改正について	可決
第32号	射水市不妊治療費助成に関する条例の一部改正について	可決
第33号	射水市民病院使用料及び手数料条例の一部改正について	可決
第34号	射水市体育施設条例の一部改正について	可決
第35号	射水市消防団条例の一部改正について	可決
第36号	射水市火災予防条例の一部改正について	可決
第37号	射水市新湊ふれあい会館条例の廃止について	可決
第38号	射水市特別会計条例の廃止について	可決
第39号	射水市土地開発基金条例の廃止について	可決
第40号	射水市墓苑事業基金条例の廃止について	可決
第41号	射水市視聴覚ライブラリー条例の廃止について	可決
第42号	射水市作道コミュニティセンター新築（建築主体）工事請負契約について	可決
第43号	市有財産の無償譲渡について（七美ことぶき苑デイサービスセンター）	可決
第44号	指定管理者の指定について（コミュニティセンター6施設）	可決
第45号	平成27年度射水市一般会計補正予算(第6号)	可決

【議員提出議案】

番号	件名	結果
第1号	射水市議会委員会条例の一部改正について	可決
第2号	介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保を求める意見書	可決
第3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書	可決

上記以外の審議事項

【報告】第1号 専決処分の承認を求めることについて
他1件・・・いずれも承認

【諮問】第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
他1件・・・いずれも異議なき旨答申

【議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案等について掲載】

議員名	瀧田	島	中村	澤村	山崎	石黒	不後	吉野	伊勢	津田	堀	古城	赤江	菊	奈田	高橋	竹内	高橋	四柳	小島	横堀	津本	
	孝吉	正己	文隆	理	晋次	善隆	昇	省三	司	信人	義治	克實	寿美雄	民夫	安弘	久和	美津子	賢治	允	啓子	大輔	三男	
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

●各会計予算

会計名	予算額(千円)	伸率(%)
一般会計	42,351,000	4.2
国民健康保険事業特別会計	10,243,368	4.8
後期高齢者医療事業特別会計	1,904,706	1.8
墓苑事業特別会計	—	皆減
介護保険事業特別会計	8,975,268	3.8
水道事業会計	3,669,211	1.2
下水道事業会計	8,643,762	10.1
病院事業会計	6,202,840	▲8.9
合計	81,990,155	3.5

―世代と世代が支え合う―
 持続可能な未来を実現するた
 めの事業を戦略的に展開して
 いくための予算―

平成28年度予算
 『未来へつながる
 いみず次世代応援予算』

平成28年度予算における重点事業

1 少子高齢化・人口増加に関する政策



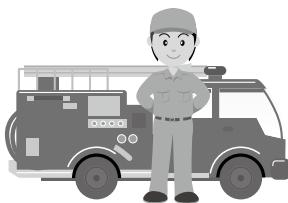
【定住・半定住対策の促進】(仮称)明日の射水を担う若者助成金、定住促進家賃補助事業、地域おこし協力隊事業、婚活支援事業など

【安心して子育てができる環境の整備】(仮称)子ども子育て総合支援施設整備、射水市版子育てアプリ構築事業、病児保育等特別保育の拡充、出生第2子及びひとり親家庭等の保育料無料化など

【健やかな子どもが育つ教育環境の充実】射水っ子音楽活動推進事業、「からだ育て教室」(幼児の体力向上支援事業)、小・中学校整備事業など

【高齢者が安心して暮らせる環境の整備】いきいき百歳体操事業、地域ふれあい介護予防事業、認知症カフェ事業など

2 安全・安心に関する政策



【災害に強い都市基盤の整備】庁舎整備事業、防災行政無線デジタル化整備事業、空き家等対策計画策定及び実態調査業務、木造住宅耐震診断費助成事業など

【地域の防災体制の整備】土砂災害避難訓練モデル事業補助、消防及び消防団車両更新整備、消防団拠点施設整備事業など

3 地域活性化に関する政策



【雇用の創出】企業団地適地調査など

【産業の振興】中小企業専門家活用支援事業、担い手確保・経営強化支援事業、枝豆選別機・ハーベスター(収穫機)導入事業、有害鳥獣捕獲対策事業など

【観光の振興】観光客動態調査、あいの風とやま鉄道駅到着メロディ制作事業、射水ベイエリア周遊バス実証運行、小杉駅周辺誘導看板等整備、下条川千本桜ポケットパーク測量・設計業務など

4 環境に関する政策



【環境保全の推進】電気自動車導入促進事業、防犯灯LED化事業、水産多面的機能発揮対策事業協議会補助(日本さかな検定の開催)など

5 人づくりに関する政策



【地域づくりを担う人材育成の推進】NPO活動促進連携事業、学生が参画するまちづくり事業など

【豊かな心を育む環境の充実】生涯学習センターの設置、全国絵本ミュージアム会議開催支援、全国鍍絵サミットin射水開催支援、新湊テニスコート改修工事など

【思いやりのある心の醸成】第2次障害者基本計画策定、手話普及事業など

代表質問

▶①平成28年度予算について

- (1) 新年度予算に込めた市長の思いについて
- (2) 行財政改革への取組について

②地方創生について

- (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- (2) 婚活支援事業について

③介護・福祉政策に関連して



【自民議員会】
竹内 美津子 議員

問①-1)▶ 「未来への投資」を意識したとされる新年度予算に込められた市長の思いと特徴的な事業について伺う。

答▶▶▶ 「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる人口減少対策を積極的に展開し、これまでも本市が行ってきた少子化対策・子育て支援などの自然増対策の一層の拡充を図る。その効果をしっかりと定着させるため、今回新たな視点から、射水市で生まれ育った若者の定着やUターン対策のほか、子育て世代や新婚世代に向けた人口の社会増につながる事業（学生の奨学金返済額一部助成制度や民間賃貸住宅へ入居する場合の家賃補助事業制度の創設など）についても重点的に予算配分を行った。引き続き「住んでみたい、住み続けたい」と思われるまちづくりを進め、「選ばれるまち快適安心居住都市いみず」の実現に向け全力で取り組む。

問①-2)▶ 新年度予算編成における行財政改革の成果について伺う。

答▶▶▶ 事務事業の廃止・見直しは85件で合計7千万円超の経費の削減につながっている。また、一時的に経費はかかるが将来的に高い行革効果が見込まれる事業は、平成27年度に引き続き「行革推進特別枠」を設け予算配分を行った。

問②-1)▶ 総合戦略はどの程度進捗し、どのような効果が生まれると考えているのか。

答▶▶▶ 総合戦略では、基本目標や具体的な施策ごとに数値目標やKPI（重要業績評価指標）を設定しており、予算執行後、これら数値の動向等により、進捗や効果等を

検証することとしている。地方創生を実現することでバランスの取れた人口構造を構築し、未来世代に責任が持てる射水市ならではのまちづくりに取り組んでまいりたい。

問②-2)▶ 婚活支援事業は、人口増対策の根幹をなすと考えるが、その進め方と成果をどう出していくのか伺う。

答▶▶▶ 結婚を希望する男女の募集と併せ結婚への道筋を応援するサポートクラブを組織し、結婚力向上セミナーの開催や婚活パーティ、ツアー等のイベントを開催する。他市の実績や成果も参考としながら、本市なりの有効な婚活事業として機能するよう取り組んでいく。

問③▶▶▶ 認知症カフェの事業効果と認知症高齢者への今後のケアについて伺う。

答▶▶▶ 平成27年度は延べ206人の参加があり、介護者のリフレッシュや癒しのほか、地域住民やボランティアからは認知症へ意識を向けるきっかけとなった等の声が聞かれ、有意義で効果があったものと考えている。認知症高齢者は今後も増加が見込まれ、認知症カフェの拡充のほか、地域包括支援センターにおける相談支援業務や市民への知識の普及、そして早期発見、早期治療につなげる体制整備の充実を図り、地域ぐるみで見守り支え合えるまちづくりの構築を目指す。

その他の質問

- 観光振興について
- 教育行政について
- 防災対策事業に関連して
- 「クリーンピア射水」運営について
- コミュニティバス運行について

一般質問

皆さんの生活にかかわる大切な事柄について、市長その他の執行機関から報告や説明を求めました。内容をダイジェストで紹介します。

一般質問

▶①漁業振興について

- (1) 放置された定置網について
- (2) 旧漁港の今後のあり方について
- (3) 漁業従事者新規就業者支援について

②観光振興について



石黒 善隆 議員

問①-1)▶ 操業を停止した大規模定置網が新湊沖に放置された状態であり、漁場の荒廃や富山新港に出入りする船舶への被害や影響が危惧されるが、市の見解を伺う。

答▶▶▶ 漁業振興及び富山新港の安全面から、許可権者である県に対し問題解決に向け働きかける。

問①-2)▶ 環境改善された旧漁港の今後のあり方について伺う。

答▶▶▶ 漁業者の施設整備をはじめとした「浜の活力再生プラン」を策定し、東西一体のものとして水産施設の配置再編を検討する。

問①-3)▶ 射水市農林漁業新規就業者支援事業補助金交付制度を活用し、県外から来られ、漁業に従事しながら射水市に住んでいる方がおられると聞いているが、この制度は射水市版総合戦略の地域のしごとづくり、人口増加、地域活性化の実現の

ために有効だと考える。今後の方針について伺う。

答▶▶▶ この支援制度の内容は、①研修者支援、②研修を終えた後の居住支援であり、県農林水産公社と連携し運営・PRに努めていきたい。

問②▶▶▶ 昨年・今年と多くのメディアで射水市が発信され、今後多くの観光客の訪問が期待される。内川周辺の観光に対する整備が求められるが見解を伺う。

答▶▶▶ 内川周辺の観光面の整備については、地域の皆さんから様々な提案や要望がなされており、その熱意を強く認識している。内川を愛する方々と連携を図りながら、できる限り支援し、地域の活性化につなげたい。

その他の質問

- 民泊の可能性、オートキャンプ場の誘致について

一般質問

- ▶ ①子育て支援について
- ②高齢社会対策について
- ③小杉庁舎跡地の利活用について



津本 二三男 議員

問①▶▶▶ 新年度から第2子についても保育料無料化を一部導入するが、所得制限を緩和し対象を広げるよう努められたい。また、非正規雇用から正規雇用への転換を進める雇用対策、給付制奨学金の創設について、国へ要望されたい。

答▶▶▶ 市単独での第2子保育料の完全無料化は多額の財源が必要であり難しい。幼児教育無償化の早期実現を国に求めていく。正規雇用への転換については、国が事業主に対するキャリアアップ助成制度を設けており周知に努める。給付制奨学金については関係機関を通じて国に働きかけていく。

問②▶▶▶ 認知症の人も家族も地域の中で孤立することなく、安心して暮らせるような地域づくりに地域や諸団体とともに取り組まれたい。

答▶▶▶ 認知症の人を「地域ぐるみで見守

り支え合う」まちづくりの構築は重要であり、認知症サポーター養成講座や講演会などを通し普及啓発を図っていく。

問③▶▶▶ 小杉庁舎跡地利活用についてプロポーザル方式を採用されるが、公正さを確保し示すうえで、片山学園初等科誘致の方針をいったん白紙に戻すべきではないか。また、地域から歓迎されるものにするため、「庁舎跡地等の利活用に関する提言」の段階に戻り、地域住民の意見を聞き、協議する機会を設けられたい。

答▶▶▶ プロポーザルでは公正に手続きを進めるため、有識者等による第三者委員会により選定する。プロポーザルによって提案募集を行い、事業の具体化を図る段階であることをご理解いただきたい。

その他の質問

- まちづくりについて

一般質問

- ▶ ①ゴミ減量化について
- ②庄川水害予防計画について



島 正己 議員

問①-(1)▶▶▶ 平成28年度、ごみ総排出量の目標値を実現していくための取組について伺う。

答▶▶▶ 生ごみの水切りの啓発や市内事業所へのゴミ減量化・資源化指導等により、ごみの排出抑制に取り組んでいく。

問①-(2)▶▶▶ 学校給食からの食品残さの発生抑制、食品ロスの削減、食品残さのリサイクルについて、今後どのように取り組むのか伺う。

答▶▶▶ 可能な限り食べ残しや調理くずなどの食品残さが発生しないよう、これまでの取組を踏まえながら、残さの抑制に努めていくとともに、食や環境に対する子どもたちの意識の醸成に努めていく。

問①-(3)▶▶▶ 余剰食糧を企業や個人から譲り受け、生活困窮者や社会福祉施設などに配る「フードバンク活動」や外食での食べ残しを持ち帰る「ドギーバッグ」も普及しつつある。市内における食料廃棄物の現状と今後の食

品ロス減量に向けての取組について伺う。

答▶▶▶ フードバンク活動やドギーバッグの普及など食品ロスの削減に向けた活動や取組について、市民の皆様にお伝えするPR活動を含め、今後の取組、支援について検討していく。

問②-(1)▶▶▶ 築堤計画の進捗状況と今後の実施計画について伺う。

答▶▶▶ 射水市内での整備計画延長約2.9kmのうち平成27年度末までに2.4kmの整備を終える見込みであり、引続き未整備区間の整備を進めていくと聞いている。

問②-(2)▶▶▶ 浚渫実績と今後の実施予定について伺う。

答▶▶▶ 平成16年に高岡大橋から高新高橋の区間で実施した。国交省では定期的な測量を通じ管理・監視を行っており、必要に応じ浚渫を実施するとしている。

一般質問

- ▶ ①ふるさと納税について
- ②有料広告について
- ③富山県新アンテナショップについて



瀧田 孝吉 議員

問①-(1)▶▶▶ 本市ではふるさと納税を申し込んでいただく際に5つのメニューから活用先を選択できるが、例えば「子育て及び高齢者の支援に関する事業」を「子育て支援」と「高齢者支援」に切り離すなどより分かりやすく細分化してはどうか。

答▶▶▶ 農林水産業や商工業の発展、地域コミュニティの活性化など新たな使途の設定も含め検討したい。

問①-(2)▶▶▶ ふるさと納税の使い道と金額をホームページなどで公表してはどうか。

答▶▶▶ 寄附者の満足度を更に高めるとともに本市への支援を継続していただくきっかけとなるなど制度本来の趣旨からも重要と考えており、速やかに対応したい。

問②▶▶▶ 有料広告事業について、ネーミングライツも含め更新時期と掲載料について伺う。

答▶▶▶ 平成28年度予算では市報など8

件の媒体を活用し、計418万9千円の収入を計上している。掲載期間はほとんどの媒体で1年に1回募集しており、公共施設へのネーミングライツは5つの施設に導入しており756万円の収入を計上している。

問③▶▶▶ 東京日本橋に5月末オープン予定の富山県新アンテナショップのイベントスペースで展開される市町村独自企画を映画「人生の約束」で注目度が高まっている曳山まつりの開催時期にタイミングを合わせてはどうか。

答▶▶▶ 富山県首都圏本部に対して積極的にPRしていきたい。

その他の質問

- 企業版ふるさと納税について
- ネーミングライツ実施施設の拡大について
- 射水市共通封筒のデザインについて
- 新アンテナショップへの商品登録を目指す市内事業者への支援について

一般質問

- ▶ ①病児保育事業について
- ▶ ②小杉駅周辺都市再生整備計画事業について



古城 克寛 議員



問①-1)▶ 本市の病児保育事業の現状を伺う。

答▶▶▶ 病児対応型と病後児対応型の両方を射水おおぞら保育園1か所で行っている。また保育中に体調不良になった児童に緊急対応を行う体調不良児対応型は公立、民間保育園合わせて10か所で行っている。

問①-2)▶ 新年度から厚労省が病児・病後児保育施設の普及を後押しするとのことであるが本市の今後の予定を伺う。

答▶▶▶ 医師や看護師、保育士の確保及び関係機関との連携が不可欠であり、今後とも市民病院を始めとした市内の医療機関等の意見も踏まえ、保護者のニーズも見極めながら新たな実施施設を増やすための方策や病児保育事業の充実について調査研究していく。

問②-1)▶ 小杉駅周辺都市再生整備計画事業について、計画の狙いと概要を伺う。

答▶▶▶ 本計画は公共施設の利便性向上、

既存施設を活用した交流拠点の拡充及び歴史・文化資産を活用した交流人口の拡大を目指し、平成28年度から5か年で実施する。内容は歌の森運動公園等の駐車場整備、小杉社会福祉会館の大規模改修のほか、下条川千本桜ポケットパークについては観光船の発着場及び休憩施設を整備し、小杉駅から旧北陸道へ来訪者を誘導する歩道のカラー化と段差解消を行う。

問②-2)▶ 定住促進とまちの活性化に向け、この事業を契機としてさらなる取組が必要と考える。

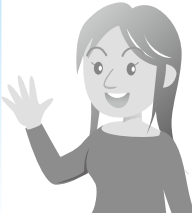
答▶▶▶ 実施中の「歴史と文化が薫るまちづくり事業」や各種の観光施策との連携により地域の魅力を高めると共に、まち並みや景観の保全・活用に向けた地域の主体的な取組に対しては、県など関係機関と連携を図り、できる限り支援していきたい。

その他の質問

- 奨学金制度の改定について

一般質問

- ▶ ①小学校の英語教育について
- ▶ ②障害者差別解消法の施行に伴う本市の対応について



吉野 省三 議員



問①▶▶▶ 県教委では、平成32年度実施予定の小学5、6年生の英語教科化を見据え、英語専科教員を拡大するとしている。本市における現在の配置状況と成果、来年度の配置予定、現任教員の研修及び専科教員の配置の有無に伴う学力差について伺う。

答▶▶▶ 今年度から東明小学校、大門小学校の2校に配置されており、「英会話の能力や学級担任の外国語活動に対する指導意欲が高まった」という成果が出ている。来年度は現在の2校に加え、新たに2校に配置予定であるが、配置先校等については現在調整中である。現任教員の研修については、外国語活動推進リーダーを中心に研修を重ねている。また、本市では市単独で4人の外国語活動指導員を市内全小学校に派遣しているほか、モデル校での指導法等についても共有

し、学力差が生じないようにしている。

問②▶▶▶ 「障害者差別解消法」が4月1日から施行されることに伴い、「対応要領」の作成や職員、教員等の関係者研修、並びに、差別に関する相談や紛争防止、解決を図るための「障害者差別解消支援地域協議会」の設置について伺う。

答▶▶▶ 国の各省庁においては「対応要領」を既に策定しており、本市では今後県が策定する「ガイドライン」に沿って対応していく。職員等の研修については、現在準備を進めている。協議会の設置については「射水市障がい者虐待防止ネットワーク会議」の機能を拡充し設置していく方向で検討している。

その他の質問

- 高齢者虐待及び介護施設への行政指導について

一般質問

- ▶ ①新年度予算について
- ▶ ②公会計制度の導入について
- ▶ ③地域包括ケアシステムの構築について
- ▶ ④ダブルケア対策について



不後 昇 議員



問①▶▶▶ 新年度の予算について伺う。

答▶▶▶ 総合計画等の推進に配慮した。少子化対策・子育て支援のほか、若い世代のUターン対策など人口減対策に重点を置いた予算配分とし、地方創生の実現に向けた取組を戦略的に進めていきたい。

問②▶▶▶ 公会計制度の導入について伺う。

答▶▶▶ 課題の整理や固定資産台帳の整備に係る新たな電算システムの開発を進め、国が要請している平成29年度末までには新たな基準による財務書類を作成する。

問③▶▶▶ 地域包括ケアシステムの構築について伺う。

答▶▶▶ これまでに各種団体等と連携し、研修会や情報交換会、更に地域ケア会議の開催などを通し、在宅医療・介護連携の強化

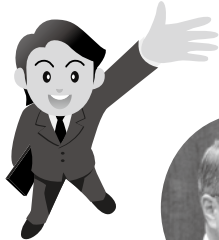
を図ってきた。今後は、これらに加え国の掲げる「在宅医療・介護連携推進事業」を実施するため、医師会や関係団体、更に学識経験者等で構成する「射水市在宅医療・介護連携推進協議会」を立ち上げ、地域で医療と介護サービスを提供できるシステムづくりに向け、きめ細やかな連携体制を構築していきたい。

問④▶▶▶ ダブルケア対策について伺う。

答▶▶▶ 本市における子育てと介護のダブルケア世帯の存在は確認していないが、議員ご指摘の晩婚化や晩産化の進展により、今後両方の支援が同時に必要となる保護者が増えていくものと考えられる。このことから誰もが安心して働き続けることができる仕組みづくりを考えていきたい。

一般質問

- ▶ ①人材育成について
(地域を担う人材の育成について)
- ②農業委員会組織、制度改正について



伊勢 司 議員

問①▶▶▶ 現在、市内の各種団体では、次代を担う人材の不足が顕著になってきており、各組織において、人材発掘や人材育成に対する仕組みづくりが重要と考えるが、市として各種団体におけるリーダーの発掘や育成のために、どのような支援を考えているのかお聞きする。

答▶▶▶ 市としては、今後加速化する少子高齢・人口減少社会において、市民満足度の高いまちづくりを持続させるため、地域振興会や各種団体、NPO法人など、多様な主体による協働のまちづくりを一層推進するとともに、新たにNPO法人と地域ニーズとのマッチングを図るよう「NPO活動促進連携事業」に取り組んでいきたい。

問②▶▶▶ 本年4月から農業委員会法が改正施行され、農業委員の選出方法が公選制から

市町村長による任命制となり、各地域での農地利用の最適化を推進する「農地利用最適化推進委員」が新設されるなど大規模な制度改正になっているが、農業委員をはじめ農家への周知徹底が行われているのかお聞きする。

答▶▶▶ 新制度の内容については、適宜、農業委員会総会等において農業委員への周知を図るとともに、農業委員会だよりや市報、ホームページ等を活用して市内の関係者への周知を図っていく。新制度へは、現在の農業委員の任期満了をもって移行することになり、本市では平成29年12月が満了となっているので平成28年度中に関連条例を改正し対応したい。

その他の質問

- 合併特例債及び合併算定替え特例について
- 大型工事の検査状況について

活動レポート 議会運営委員会

昨年10月に開庁した黒部市庁舎を訪問し、黒部市の議会運営委員会委員の方々から、新しい議場のほか、議会におけるタブレット端末の導入や議会基本条例について、直接お話を伺いました。

実際の運用状況や課題等についてお聞きすることができ、秋に開庁する新庁舎議場の運営をはじめとして、今後の議会運営に生かしてまいります。



議場で運営システム等を見学



視察項目について質疑応答

～ 行政視察を受け入れています ～

射水市議会では各種事務事業について議会関係者の皆様の行政視察の受け入れを行っており、平成27年度中では、3月に訪れた下記の3議会を含め、51議会、約400名の方々が当市議会を訪れました。(前年度23議会157名)

北陸新幹線の開業のほか、映画「人生の約束」の公開などで本市がクローズアップされたこともあり、射水市議会においてもこの好機を捉え、今後も積極的に本市をPRしてまいります。

月日(曜日)	訪問自治体	人数	調査事項
3月24日(木)	広島県呉市	7名	・市税のインターネット納付について
30日(水)	東京都荒川区	1名	・射水市の観光振興について
	東京都稲城市	5名	・多文化共生等について ・コミュニティバス、デマンドタクシーについて



行政視察の受入風景



予 算 特別委員会

議案3件をいずれも可決
しました。

■ 平成28年度射水市一般会計予算(議案第1号)

歳入歳出の総額をそれぞれ423億5,100万円とする予算です。(内容はP3を参照ください。)

■ 平成27年度射水市一般会計補正予算(第5号)(議案第8号) 平成27年度射水市一般会計補正予算(第6号)(議案第45号)

一般会計の歳入歳出予算に、歳入歳出それぞれ3億7,260万円を増額し、
予算総額を429億6,806万2千円とする補正予算です。

【補正予算の主な内容】

- ◎ 新庁舎建設に伴う地区窓口との庁舎間ネットワーク等の構築に係る業務委託経費
- ◎ 農業の担い手確保・経営強化のための支援事業補助金
- ◎ 国の地方創生加速化交付金を活用した、サクラマスの市場化事業に係る経費



■ 市債残高について

問 市債残高の中には、臨時財政対策債のように交付税で措置されるべきものが、国の財源不足のために地方の起債で対応せざるを得なかったものがある。その元利償還に対して財源措置が約束されていると思うが、それらを考慮した実質的な市債の残高はどの程度の見込みなのか、また、それは本市の財政規模から見て、どのような水準にあるのか。

答 市債残高から交付税措置を差し引いた実質的な残高は、平成26年度決算による算定では全体の約3割弱の155億円程度と見込んでいる。また、市債の残高が適正であるかどうかの判断指標として、国は財政規模に対する実質的な市債の残高をもとに算定した「将来負担比率」を定めており、本市は平成26年度決算において109.0%と国が定める早期健全化基準である350%を大きく下回っており、適正な水準で推移している。

■ ふるさと納税について

問 業組合や商工団体への「ふるさと納税」の協力依頼について、現在の状況は。

答 返礼品をリニューアルした7月以降、パンフレットの配布を含めた本市へのふるさと納税のPRについて協力依頼を行っており、今年度の寄付総額が過去最高となったのも、各種団体の皆様のご協力によるところが大きいと考えている。返礼品についても常に見直しを図っており、新年度以降、新しいパンフレットが完成次第、再度協力依頼を行いたいと考えている。

■ 学校施設整備について

問 平成27年度に計画されていた学校のグラウンド環境整備事業について、国庫補助採択が受けられなかったことから事業費が減額補正計上されているが、今後の対応について伺う。

答 グラウンド整備事業は教育環境の改善に加え、集中豪雨時の貯留機能も期待できることから、市の重点事業にも挙げており、喫緊の課題と捉えている。平成27年度は国が耐震化事業を優先したことから、グラウンド整備事業に係る国の補助事業が採択されなかった。今回、予算を減額補正せざるを得なかったことについては大変残念に思っているが、改めて平成28年度の事業採択に向け、国や県に要望しているところであり、今後採択を受けて事業実施できるよう努めていきたい。

総務文教 常任委員会

議案19件をいずれも可決しました。
所管事務について11件の報告を受けました。

■ 射水市生涯学習センター条例の制定について（議案第18号）

「小杉勤労青少年ホーム」及び「働く婦人の家」を統廃合し、新たに「生涯学習センター」を設置するもの

問 使用料金の減免はしないのか。

答 生涯学習センターの利用料金は、コミュニティセンターと同等の料金を設定している。コミュニティセンターでは利用料金の減免が行われているが、生涯学習センターでは、受益者負担の観点から、原則として利用料金の減免は考えていない。

■ 射水市が目指す「富山県西部圏域連携中枢都市圏の形成」とは、どのような取組なのか。また、取組に対する国からの財政措置はあるのか。

自治体が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、①圏域全体の経済成長のけん引、②高次の都市機能の集積・強化、③圏域全体の生活関連機能サービスの向上を行うことで、人口減少・少子高齢社会にあっても一定の圏域人口を持つ活力ある社会経済を維持するため、富山県西部6市とともに拠点を形成する。



問 具体的な取組内容はどのようなものか。また、国からの財政措置はどれくらいあるのか。

答 富山県西部の6市が持つ個性・特性を生かし、圏域全体の発展に向けて連携を深めるものである。現在、実務者レベルの会議を行いながら、どのような取組が可能か検討を進めている。
国からは、圏域人口から算出した理論値ではあるが、約3億円程度の交付税措置があると見込んでいる。

■ 新庁舎開庁後の各地区センターで、市民からの様々な相談への対応を。



建設中の市役所新庁舎は、平成28年10月11日（火）に開庁式を予定しており、窓口対応など市民に影響がないよう、9月下旬から徐々に引っ越し作業を進める予定である。

各地区で各種の窓口業務を行っていた行政センターは廃止し、代わりに「地区センター」と称する窓口を各地区に設置して、住民票など各種の証明書発行業務を引き続き行う。

問 新庁舎の開庁にともない、これまで各地区で窓口業務を行ってきた「行政センター」が廃止されるが、その代わりに諸証明の発行などを行う「地区センター」が設置される。

市民の利便性が低下しないよう、地区センターで市民からの様々な相談に応じられるような体制をとるべきではないか。

答 地区センターでは、諸証明の発行事務のほか、市民が相談できる窓口を設置する。担当部署でないと答えられないような専門的な内容の相談があった場合、テレビ電話を使い、地区センターと担当部署を直接つないで、相談に応じられる体制を整えたいと考えている。



民生病院 常任委員会

議案20件をいずれも可決しました。

所管事務について1件の報告を受けました。

■平成28年度射水市介護保険事業特別会計予算（議案第4号）

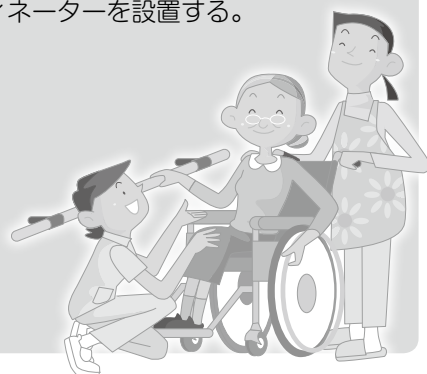
歳入歳出予算の総額をそれぞれ89億7,526万8千円とする予算です。

問 昨年に介護保険法の改正があり、平成29年度から要支援1、2の方が受けていたサービスは介護保険制度から切り離され、市町村が運営する地域支援事業に移行することとなる。その準備はどのような状況か。

答 地域の住民が主体となって運営する「通いの場」や「集いの場」を創設し、ごみ出しや買い物代行を有償で提供する生活支援サービスを提供する組織づくりやそのシステムづくりを進めている。さらには、サービスの担い手発掘や養成など、生活支援の体制整備が重要であると考えており、これらを行っていくため、新年度においては、地域で啓発等の役割を担う生活支援コーディネーターを設置する。

問 認知症の地域支援推進員設置事業はどのような内容のものか。

答 認知症地域支援推進員を5つの地域包括支援センターに設置している状況であり、市内には5名いる。医療機関や介護サービス事業所、地域支援機関の連携支援を行い、認知症の方やその家族の方々の相談業務等を通じて支援することが主な役割である。今年度から開始した認知症カフェは地域支援推進員の方々が中心となって企画している。



■平成27年度射水市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）（議案第12号）

歳入歳出からそれぞれ5,513万円を減額し、予算総額を86億8,694万4千円とする補正予算です。

問 地域密着型介護サービス費が大幅に減額されているが、地域密着型を進めるとしながら、実績はあまり上がっていないということか。

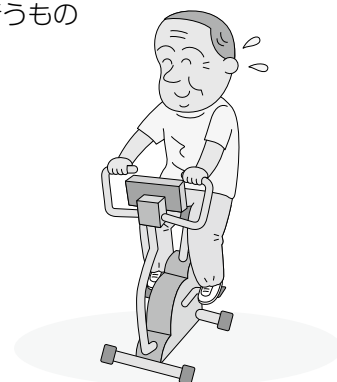
答 過去の実績の推移では、地域密着型介護サービス費が増大したこともあり、平成27年度において大幅な伸びを見込んでいたが、想定していたほどは伸びなかったという状況がある。それに対し、居宅介護サービスの利用が一部増えており、利用実態に合わせ補正を行ったものである。

■射水市民病院使用料及び手数料条例の一部改正について（議案第33号）

心疾患を有する患者を対象として、診療時間外に市民病院リハビリテーション室を使用する運動療法事業を実施することに伴い、手数料を新たに規定するため、本市条例について所要の改正を行うもの

問 運動療法にはエアロバイクを使うとのことだが、何台設置しており、1回につき何人利用できるのか。また1回につき1時間程度というメニューはどのような内容か。

答 エアロバイクは5台あり、5人募集し事業を行っていきたいと考えている。内容は、事前に体重、血圧等を測定し、準備体操から始め、30分程度エアロバイクで運動し、その後血圧測定、整理体操の順で概ね1時間を想定している。



産業建設 常任委員会

議案4件をいずれも可決しました。
所管事務について4件の報告を受けました。

■平成28年度射水市水道事業会計予算（議案第5号） ■平成28年度射水市下水道事業会計予算（議案第6号）

水道事業会計予算は、収益的支出及び資本的支出の予算総額36億6,921万1千円。業務の予定量は、給水栓の数が3万4,940栓、年間の総配水量が1,085万5千立方メートル。

下水道事業会計予算は、収益的支出及び資本的支出の予算総額86億4,376万2千円。業務の予定量は接続件数が3万6百件、年間の総排水量が1,124万立方メートル。

問 上水道の使用料金は市民の生活に直結しているが、これまでの水道料金の改定状況と今後の使用料の推移について伺う。

答 射水上水道企業団時代の平成8年に16.2%の値上げをし、合併後、平成20年4月に約5%の値下げをした。これは、平成20年に水道ビジョンを策定した際、県企業局との協議による受水費の値下げ及び繰上償還による利子負担の軽減等により年間約1億2,000万円の経常経費の削減が可能となったことから水道料金の値下げを行った。現在、その料金を維持しているが、水道ビジョンでは、平成30年度までは健全財政が維持できるが、その後、赤字に推移していくことが見込まれることから、可能な限り経常経費の削減に努め、現在の料金水準を維持していきたいと考えている。

問 市民にとって下水道使用料金は安価な方がいい。以前、県立大学と共同で下水処理施設の汚泥に関する研究を行っていたが、現在、使用料金を安くするためどのような施策に取り組んでいるのか。

答 下水道処理に係る経費の削減や不明水対策を行うことで有収率を上げ、費用の削減に努めている。

県立大学との共同研究である汚泥の減量化は経費節減や環境問題対策に有効であるが、現在は休止中であり、商業ベースでの実施は難しいものがあると考えている。今後もあらゆる対策を講じ、持続可能な健全経営を目指すとともに、経営の効率化に努め、経営基盤の強化を図っていきたいと考えている。

■小杉地区都市再生整備計画事業について

小杉駅周辺の公共施設の市民交流機能の強化や観光回遊ルートを整備し、定住促進や交流人口の拡大を図るとともに、地域住民が安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを推進するもの

問 観光の目玉となる小杉駅から内川までを結ぶ観光船の発着場所など「下条川千本桜ポケットパーク」（仮称）の整備は、今後どのように進めるのか。

答 「下条川千本桜ポケットパーク」（仮称）は、県道富山高岡線の下条川周辺に整備する。

観光客を小杉駅からスムーズに誘導する散策ルートや観光船の発着場所の整備は、観光客や地元住民の利便性を高めるよう配慮していきたいと考えている。



インターネットで議会中継がご覧になれます

本会議及び予算特別委員会の録画映像をパソコンやスマートフォン、タブレット端末などで視聴することができるインターネット配信を行っています。

ケーブルテレビを視聴されていない方や議場に来て傍聴することができない方のため、また、見たい時にいつでも気軽に見ることができるインターネットの利点を生かし、積極的な情報提供を行うことで、より「開かれた議会」「身近な議会」を目指します。

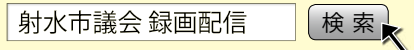
《パソコン用配信画面》



□会議名、議員名のほか、発言項目によりキーワード検索ができます。



□録画映像が視聴できる画面は、射水市議会ホームページのトップページとリンクしています。
また、インターネットによる検索(「射水市議会 録画配信」などを入力)により直接視聴画面にアクセスできます。



編集後記



竹内 美津子 議会広報編集委員会委員

「選ばれるまち快適安心居住都市いみず」の実現に向け、未来へつながる次世代応援予算と位置付けられた平成28年度予算が成立し、合併10周年の節目を経て、新たな射水市づくりが力強くスタートしました。新年度には、市民の一体感醸成のシンボルと成り得る新庁舎も開庁し、射水市の将来展望に大きな期待が寄せられるものと思います。議会広報も、映画『人生の約束』のテーマでもあった「つながる」という事を心掛け、これからも市政全般、議会の情報を市民の皆様とのつながりを第一に考え、編集・発信していきます。皆様とともに、未来に開ける射水市に向けて平成28年度をスタートしましょう。

●議会広報編集委員会 **【委員長】** 伊勢 司 **【副委員長】** 赤江 寿美雄
【委員】 津田 信人、山崎 晋次、竹内 美津子、吉野 省三、澤村 理、高橋 久和

次の定例会は6月

会期日程は、決定次第ホームページに掲載いたします。
くわしくは、議事調査課 (Tel: 82-1950) までお問い合わせください。



議会を読もう

いみず市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行します。皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を身近に感じてください。



議会を見学しよう

射水市議会では皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に新湊庁舎3階議会事務局までお越しください。